夕刊 磐城新聞
十一月二十二日發行
（日曜祭日翌日休刊）

好間の炭鑛研究
發達史と現狀及將來
吉川生

（12）

本坑の販賣地域は鐵道がその大半を占め第一の顧客で五二、八%。次は東京の一一、六%等が主でその他は二二〇キロメートルを半徑とする圏內の小都市の製絲紡績家庭用學校用官省用及工場で使用されてゐる詳くは結論の二に述べてある
左に大なる仕途先及用途先と販賣先の歩合を示す

仙臺―製絲場、各工場、家庭用、官省用　七%
山形―各學校家庭用、酒造家、製絲場、官省用　一、六%
米澤―右同
福島―紡織、家庭用、學校用、病院用　六%
郡山―紡績、製絲、家庭用、官省用　一〇%
宇都宮―家庭用、官省用　一%
桐生―製絲、家庭用、織物　一、七%
足利―右同　四、七%
東京　一一、六%
道鐵　沼津、青森の南北限を有す　五二、八%

當坑は炭質も良好にして炭量も多く一人當の採炭も比較的に大く前途尚多望である
殊に津川隅田川兩坑は品質よく聲價揚しゐる

ヌ、古河好間炭鑛
古河鑛業株式會社は大正四年六月前記白井遠平氏の所有する好間炭鑛株式會社の鑛區が相當有望なる炭層で相當區域を占め、大規模經營に適しその他鑛山の經營に適する立地學的諸條件に合致する點より買收し從業員の增加長屋の增築等の企業を完成し、大正七、八年の好況に依る輕電各種工業の發展によつて仲炭坑と轍を同じうせる發展振りで月五―六六噸の大出炭をなし、現在村內三炭坑の出炭合計三千餘噸よりも倍額の出炭を見たのであつて從業員の數も六千人以上を見出したと思ふ
ところが戰後の反動期の業況としては他炭坑の如く經濟難に苦むのではなくて末採掘炭層地域の減少と坑道が古くなつて修理が嵩み從つて事業上に故障が多くなり經營法も姑息で小規模な殘炭掘の傾向を帶び當社の目的とする機械力を使用する合理的な採炭經營法とは益々疏隔する等の不利な點か多くなつて時には欠損する事さへある狀態であつた事と此の元山炭坑の採掘は古河鑛業會社としては營業經營目的の仕事ではなくて全鑛區に對する主目的とする現場坑以東の深部良質炭層に對する試驗的採炭經營が目的あつたので大正十年六月第二斜坑は小田炭坑株式會社に殘る第一斜坑及第四坑（隅田川）は小田吉次氏に昭和二年に讓渡されたのである

妻と子
今藤松次

○殘業の人に歸りて硝子戶に機械の影はうらさびしけれ
○子らあまた持ちて生活の苦しきに經濟論といふを考ふる
○吾子あまた持ちて生くるに現身の末を思へば安からなくに
○子を生めば食慾增すといふ聞けり妻に對ひゐて今思ひいづ
○四たりの子を生みにけるわが妻の老いづく見れば憐みて寄りつ
○當直に疲れてい寢るこの朝玻璃透ける陽はあたまにさしつ

潮聲硯靜抄帳
十月集　天野雨山選

雜詠　當季

松堂
短日の窓みな灯るビルヂング
蔓珠沙華雜ざあらされし畷かな
大露にすわれ目に立つ稚かな
朝霧の晴れて温泉の香くはしき

枯萍
露霜の下りてしづかや茶の木原
工場におぐる煙や秋の暮
秋晴れの雲うつしたる盥かな
登山車の眞上を鳥の渡りけり

東と西
趣味の科學
大平秀之助（1）

時計の針は回り、埠頭のどよめきに亂れるテープは將に切斷せられ、汽笛の響きも情序深く一抹の煙を名殘に青空萬里の征波に旅立てんとしてゐる。會者定離は古の哲學にも見出されるが、ジャズとうじ方の世界に活躍する人々は相離れ行く樂しさを希望の光に燃いてゐる。デーゼルエンヂン內に發生する力に依つてスクリユーが回轉し出すと船は直線を畫いて空と海の境界に消えて行く、三百年の封鎖より開放せられて以來西歐藝術の研究と男性的な躍動なる視界を世界に廣むる靑雲の志は若人の禁じ得ないところである。一四九二年八月三日、コムムブスのバロス港出は悲壯そのものであつた。西へ〱以外に彼等の希望は無く、努力もなく、生命も無い。年經りて二十世紀の世界の重心の組育に求め得られる事をその當時誰が夢想してをつたであらう。富と力と文明と、それからブラジルの蒼原と。歐洲の互解は遂に合衆國をして世界文明の覇者たらしめた

11月23日
△實朝宋人に大船を建造せしむ（建保四）
△女流作家樋口一葉殁す、年二五（明治二九）
△我部隊高臺子に襲はれ死傷十名を出す（昭和六）

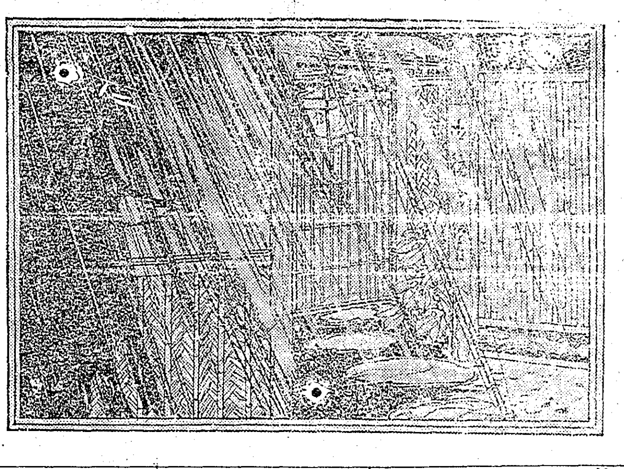
〔社會の今日〕

○
火の山のけぶり亂れて白樺の林高鳴る木枯の風　佐々木信綱
高濱は船の著く町港町船の船頭で夜の明ける町　淺野純一

講談 幕末神風組
（64）
土生太郎作　高根秀浩畫

施風陣（三）

一同の興味は、淺野と山猫龍の上に注がれた。淺野の云ふ一語一語も勿論だが山猫龍の態度も人々の好奇心を誘ふに十分だ
龍はなか〱口を開かうとはしなかつた、強く押し默つたまゝ、自若として刀の切尖に相對してゐるのだ
しめつぼい風が人々の首筋をすぎて行つた
と思ふ間もなく、ぽつりぽつり！やつて來た
——雨だ——
と思つたが、誰も口をきかうとはしない
ザ、ザ、ザ、ザアッ！
早い雨足だつた
激しい音につれて、闇中に雨が白く光つた
『拍子の惡い』
淺野はさういふと、山猫龍を再び、屋內に入れさせる事にした
雨は、結局、龍の取調べを中絕させてしまつた
それから、又榎本を中心に一同は額をあつめて、何事かを相談するものゝやうであつた
其處へ風呂に入つて、すつかり身仕舞をした佐吉が入つてきた
先刻までは乞食のやうに見すぼらしかつた佐吉も、月代をそつたり髭をおとしたりして、身違へるほど元氣になつてゐた
『おかげさまですつかり元氣になりやした』
ずいとそれへ入つて來て密議の中へ加はる
『おゝ！氣分はどうかな』
榎本がかへり見て云つた
『へえ、一風呂浴びましたら御覽の通り、ピン〱すつかり大元氣になりやした』
佐吉は故意と腕を撫して見せたりした
『あはゝゝゝ無理はせぬがよい、まあ今夜はゆつくり休息しなさい』
『しかし、この事は時おくれては染香姐さんの身に一大事を及ぼすかも知れませんので……』
佐吉は湯あがりの顏を光らせながら一膝乘り出した
『染香の——？』
『へえ、わしが染香姐さんに授けられた事を、早晚、彼奴等は氣づくに相違ありません』
『ふむ』
『さうなつたら大變です。いくら御木本が染香姐さんに惚れこんでゐたところで、それを知つたらかへつて可愛さ餘つて憎さが百倍といふ奴で、どんな目に會はされるか知れません。此奴アどんなことがあつても一刻も早く姐さんをたすけ出さなくてはなりません』
佐吉のいふ事は一々もつともな理窟であつた
『さうだ、そいつあ放つて置いたら染香姐さんの生命があぶない』
又しても差出口の中村であつたが、それは一同の〱へと一つであつたが、榎本だけ默々としてゐた——じつと、ある一點を見つめたまゝである
時が經つ
雨の音が馬鹿に激しく人々の耳を打つ
『御前、これは時おくれてはいけません、若し殿のお許しがなければこの事だけは手前獨斷にても……』
佐吉はすでに染香救援に意を決してゐるのである
『しかし……』
ぽつりとさう云つて、榎本は眼を閉ぢたが、再び開くと
『放つておいても構ふまいあれはあれで立派に自分の事だけは始末するだらう』
さう云つて又眼を閉ぢてしまつた、沈默だ
雨の音だけが、強く〱激しく〱人々の心の底まで打ち据えるやうにひゞきつゞけてゐる、闇をついて走る雨が、料亭『銀月』を洗つて洗ひ拔かうとしてゐる



統計調查員
平町八區に常設

平町では各種統計材料の調査並に宣傳のため此程左の如く全町を八區に分け一區四名宛の調査員を設けたが來春三月三十一日改選する

第一區　新町、長橋町、研町、古鍛冶町、紺屋町、材木町、橋下、尼子町、童子町、梅本、堂ノ前
第二區―田町、揺槌小路、一丁目、二丁目、三丁目
第三區―四丁目、五丁目、南白銀町、大工町
第四區―鍛冶町、中町、十五丁目、大町、南町、新川町、月見町、堂根町、三崎、小太郎町、菱川、佃町、下ノ町、釜ノ前
第五區―鎌田町、立町、堤ノ內、三倉、倉前、新田前
第六區―仲間町、鷹匠町、番匠町、北白銀町、柳町、四軒町、梅香町、彌宜町、手搦、九品寺前、權現塚
第七區―北目町、胡摩澤、舊城跡、六間門、杉平
第八區―久保町、七軒町、大館、八幡小路、道匠小路、六入町、揚土

諸判定應需　東京市本郷區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神讀館

新十一月廿三日　木曜　舊十月六日　癸巳　先負　破　斗宿

▲一白の人　互利を得んとすれば却て不滿を生ずるの日▲二黑の人　才力を考へて去就すれば平安に過し得べし▲三碧の人　發奮努力すれば大に成績を揚ぐ起業開店吉▲四綠の人　過分の事を思はず營々常業に滿足すべき日▲五黃の人　棚からぼた餅の甘き談に乘るべからず失敗▲六白の人　人望を失はず德を積めば益々幸福に惠まる▲七赤の人　壓迫を加へらるゝ日萬事動かぬが安全とす▲八白の人　案じ過ごして通達せざる日勉むれば功あり▲九紫の人　盛運の日計畫は實行に取掛るべし失物注意

新十一月廿四日　金曜　舊十月七日　甲午　佛滅　危　牛宿

▲一白の人　萬事機を外さず敏活に行動すべし福祉至る▲二黑の人　無理に事を企て短氣を起さば終に失敗せん▲三碧の人　取極め事は注意せざれば後に至り口舌あり▲四綠の人　平順の日にして穩健なれば利する所あらん▲五黃の人　猪突は意外の失敗を招く又口舌爭論に注意▲六白の人　偽ますたわまず勉勵すれば功果がん前に現はる▲七赤の人　焦慮するのみにて窓閑思ふまゝならざる日▲八白の人　馴れぬ事には手を出す可らず意外の損あり▲九紫の人　堅固なる考を以て企つる事は成就すべき日

刀劍研磨
白鞘調製
刀劍把卷
刀劍買入
研師 翠光齋
主 船生四郎
平町十五丁目二六大町通り

『家庭の裁縫はミシンの時代』
シンガーミシン見切特價品整理販賣
シンガーミシン七圓月賦販賣の元祖
シンガーミシン家庭の不要品高價買入
シンガーミシン部分品一式修繕中古品
安心して買へるシンガーミシンの賣店
ミシン會社の賣品は責任保證附
平町田町大通り
シンガーミシン會社
石城双葉 販賣部

ひろい沙漠を
はるばると
駱駝に乘つて
キャラバンは
雪を踏みふみ
通つてくる
キングレコードが皆樣に贈る
拾貳月新譜中傑作流行唄
會田時計店
四丁目電三六三

新型腕時計……
各種
コロンビヤ
ビクター
特約店
新譜レコード入荷
店員數名募集
金光堂時計店
五丁目
（電一九五番へ）

吸入用酸素 純度99%
度量衡
モノサシ
マス
ハカリ
計量器
体温器
寒暖計
◎秤ノ取緒・垂・修繕・糸・取替致シマス
關內藥局
電話四〇番

內外
建築材
建具材
入
阿部材木店
磐城國平町（公園下）
電話四九四番

病者の福音！
新發見冷鑛泉
明礬綠礬湯
赤井驛より二十丁　靈峰登攀にも極便利
試第二七四五號
試驗報告（寫）

定量分析

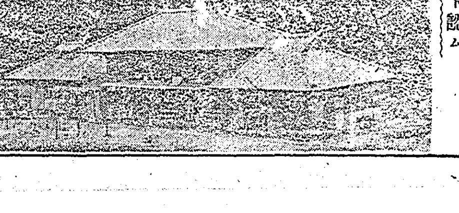
右試驗ノ爲メ當所ニ差出シタル水ハ少量ノ赤褐色沈澱アリ收斂酸味ヲ有シ微ニ硫化水素臭アリ酸性反應ヲ徵ス比重攝氏十五度ニ於て壹、〇〇四五ナリ、本水壹『キログラム』中ノ固形物總量ハ四、四九二九グラムニシテ之ガ定量分析ヲ施行シタルニ本水ハ其ノ集成ニ於テ壹キログラム中次ノ成分ヲ含有セル溶液ニ概略相當スルモノト認ム

クロールカリウム	〇、〇三三八九
硫酸カリウム	〇、〇〇四四
硫酸ナトリウム	〇、四九一四
硫酸亞酸化鐵	〇、七二二七
硫酸アルミニウム	〇、七四六七
硫酸カルチウム	一、三二六七
硫酸マグネシウム	〇、三二九六
遊離硫酸	〇、〇六九九
メル珪酸	〇、〇四二四
硫化水素	痕跡

◎右試驗ノ結果ニ據レハ本泉ハ酸性明礬綠礬泉ニ屬セルモノニシテ醫治効用左ノ如シ

浴用、下腿潰瘍、手足多汗症、慢性泌尿器及生殖器病、慢性リウマチス、皮膚病、痛風、腺病質恢復期、官能性神經痛（ヒステリー）及神經衰弱）輕度ノ脊髓病、中樞及末梢性痲痺（經久性半身不隨小兒痲ヒ）外傷障性諸障害

昭和六年十一月二日
福島縣衛生試驗所
地方技師 中田貞次郎 印
衛生技師 高橋猛 印



其他入浴の結果に依れば痔疾、胃腸病、眼病、頭痛、婦人病、皮膚病、蝕齒等に特効ある事九〇%の全治者によつて證據立てられました。
福島縣石城郡赤井村字大倉二五番
赤井鑛泉湯屋

石城酒造組合主催 唎酒會
優等入選
辰の口本店
平窪村（電話平二八五番）
販賣店
平町二丁目（電五四六番）

屋根材の大王（日の出）（太陽印）便利瓦
耐久力優ニ二十ヶ年以上
壹坪 葺上 八十錢內外
日本建築紙工株式會社
磐城代理店
銘木
ベニヤ板
天井板
建具材
內外木材
織田材木商店
平町字紺屋町四〇
電話四六〇番
建築材料ノ御用命ハ是非當店ヘ。

一日千五百噸増送の 快調を持續する炭況
相も變らぬ朗かな數字

爲替相場の變動と軍需工業の旺盛に從ひこの頃の炭鑛界は屢報の如き需要激增に頗る活氣を見せてゐるが相場も昨年から三割乃至五割方騰貴の處もあり隨つて彌が上にも增產の氣分を唆つてゐる、斯かる空氣の裡に前旬頃から前年同期に比して一日平均千五百噸增送記錄を出した常磐炭山元發送炭量の去る十一日以降二十日迄の實數は

營業用四、〇九四車五〇、七五四噸　省用一、六八八車二二、二九四噸
合計五、七八二車七三、〇四八噸

で前年同期分を突破すること營業用九〇一車一一、三七七噸、省用四五九車四、一一三噸、合計一、三六〇車一五、五九〇噸卽ち一日平均約千五百六十噸に上り上中旬を通算すれば三一、四〇八噸と云ふ飛躍的增加振りである

磐城會館建設計劃
けふ東京で催された 會田少將の祝宴で協議

磐中が生んだ最初の少將である在京會田軍醫少將及在京同窓會長豫備海軍大佐猪瀨乙彥氏を初め同校卒業生は過般來在京地方學生の爲在來の石城造士會類似の合宿所を建設すべく計劃を進めて居るが今廿二日同少將の昇級祝賀會が赤坂區青山いろは亭に開かれたのを機とし磐中同窓會長關內正一造士會設立者新田目春松兩氏が猪瀨氏の招聘によつて上京種々具體的協議をなした筈である、尙纏り次第磐城會館と名附け經費五萬圓で起工の準備に着手するが大体收容人員百餘名でこれが建設の曉には明治四十五年設立以來地方學生の溫き集として幾多追憶的の歷史を有する小石川の造士會は廢止されると

郷土室の充實に 史的寶物を蒐集
第二で復寫展の計劃

第二校では既報の郷土祭及び縣內郷土教育徹底の爲過般來郷土の實際を研究調査中であつたが平町及び近郊在家等に秘藏する史的寶物の蒐集復寫展覽等を行ふべく職員を派遣する事となり今廿二日各方面にそれ／＼依賴狀を發した

第一校優勝
兒童ド球爭霸成績

縣體育協會石城支部主催濱三郡兒童ド球大會は昨報の如く昨二十一日午後一時から第一校庭に開かれたが出場チーム審判井上、横田瓜田各訓導で平第一校が優勝した

準決勝（Aコート）
高　久0——40平六C
（Bコート）
平六E0——40久ノ濱

決　勝
平六C 11 14——5 6 久ノ濱

學務委員會

平町學務委員會は來る廿五日午後一時から町會議室で開いたが左記諸件中奉安庫建設案は町でも經費千五百圓を計上して居ると

第一、第二、平商三校へ奉安庫建設の件、小學校通學區域變更の件、九年度學級制の件

。。。。。第二校自治會　今二十二

四倉海面埋立許可
近く起工來秋完成豫定

四倉町では既報の如く工費八千八百圓で同町字新町地元公有水面七千四百四十三坪を埋立工場、市街を建設すべく縣へ申請中であつたが二十一日付で認可あつたので近く着工來年十月迄には完成すると

同學年研究
けふ第一校で開催

同學年研究會は今二十二日第一校で行はれたが今回は尋二の讀方で第一根本菊義訓導の研究發表があり第一日高二ノ三教室で行つたが尋三以上十九學級の代表主任出席盛會であつた

—平塚、松崎、石山、第二—先崎、鈴木、海老原、木村、第三—吉田、古川、佐藤の各訓導が出席した

內郷共濟會 貧困者救濟

內郷村共濟會ではこの程年末をひかへ正月の餅代に困るやうな村內貧困者十二世帶中綴驛前野榮商小沼末藏さんの一家が家族十人で兩親及び息二人が腸チブスで入院中であり各方面より同情されて居るのや、御厩某さんが葬儀も出來ず村役場に歎願したなどの悲慘な家庭に對し村內各有志から寄附を募つてゐる

縣社に日參する 敬神家五名表彰
中に小學生の伊關兄弟

縣神職會石城支會及縣社子鍬倉神社では明二十三日神嘗祭式典後平町の幣帛供進使等列席の下に左記五名を敬神家として表彰すると

（每朝六時日參）
搔槌小路磐中教諭　中島　茂
三丁目鐵物店　佐々木長作
仲町平第一六年生級長　伊關　太郎
同　二年生　伊關　次郎
（日參）
材木町　梅原　壽男

因に以上の內伊關兄弟は風雨に拘らず一日も缺かした事がないと云ふ感心な少年であると

。。。。。平對湯本局野球。平局郵便部では來る廿六日午後一時より湯本局チームを迎へて磐中球場で野球試合を行ふ

非常時風景
初冬の菊田に躍る 南北兩軍千五百名
今日から明朝へ青訓大演習

郡下聯合青訓秋季發火演習は既報の如く今明兩日植田方部に於て開催されるが統監部、中央審判官、南、北兩軍專屬審判官一行は午前九時一分其他平方部約四百名の青訓生は午後一時二分夫々指導官引率の下に統監部たる植田小學校に集合愈午後五時半總員千五百名は南軍（防禦四家少佐指揮）北軍（攻擊齊藤少佐指揮）兩軍は渣田に本陣を置いて兩陣地間に於て夜の九時頃まで第一回の攻防戰を明廿三日早曉は同鮫川中田地內に於て壯烈な遭遇戰を展開午前九時演習終了直に植田小學校庭に集合　國旗揭揚、敬禮、知事閣兵（多分代理水野視學）訓示、篠山聯合會長挨拶の順にて右演習を終る筈であると

輕機銃七挺小銃六百 手榴彈や短艇も參加
總て實戰の縮刷版

右演習に使用する銃機は輕機關銃七挺を始め小銃六百（彈丸六千發）で各訓練所每に手榴彈五箇宛配し第二日目朝の遭遇戰には二十名乘りの短艇五艘を使用すると

部隊編成

部隊編成左の如し

（南軍）—第一中隊、山田、勿來、川部、上、入遠野、田人、磐崎、渡邊（第二中隊）湯本、泉、小名濱、玉川、飯野、好間第一、同第二、平、內郷（北軍）—第一中隊、植田、錦、鹿島、江名、川前、桶賣、小川、赤井第一、同第二、平窪、豊間、高久（第二中隊）神谷、草野、大浦

田中館東北大學講師
けふ磐女で講演

磐女校では今二十二日午前九時から十時迄東北帝大講師田中館秀三氏の講演があつた演題は『世界に於ける日本』で時節柄一同靜聽した

第一唱歌會
保護者に招待狀

第一校の校內唱歌會は既報の通り廿五日午前十時から正午まで同校講堂で行はれるので今二十二日保護者に招待狀を發した、尙前日二十四日午前九時から豫行演習が行はれると

兒童の職業研究に 湯本校指定さる
縣から補助金交附

郡內各小學校では平職業紹介所と聯絡をとり只管卒業生の就職開拓に努めて居るが兒童の就職指針なるものが未だ完成の域に入つて居らぬ爲其間の斡旋兎角捗々しからず當局惱みの種となつてゐるが湯本校では此程縣より小名濱に次ぐ職業研究指導學校として指定され五十圓の補助を受けて其の方面の研究を進むることになり今後の改善開拓を期待されて居る

大野第一、同第二、四倉第一、同第二、澤渡、差
渡戸、永戸、合戸、箕輪鹽、上中下三坂
と
倶樂部員其他四十名である

三猿文庫へ珍書
關西旅行中手に入れた 德川時代の千字文二種

文字通り汗牛充棟もたゞならぬ藏書の數に於て——三猿文庫として知る人ぞ知る平町釜屋王國諸橋元三郎氏の一大ライブラリ。そこへは蒐集が主か商用が從か、一寸其間の判斷がつかぬ迄に、旅行の都度諸橋氏自身によつて持ち込まれるのや遠近各方面からの寄附で、何年來ギッシリ詰つた新舊和漢洋の本で狹からぬ書架は年々その延長の必要に迫られると云ふ膨張の急テンポ。趣味は單に書籍の蒐集にのみ止らず今では玄人跣足の帙製作に適れ圖書館長兼司書を氣取つて忙中の寸閑を見ては壺中の天地を樂む——と云つた脫俗超凡振り、これが釜屋商店大會計の横顏とある。處へ今度古書蒐集家の垂涎措かざる一大豪華版が新に同文庫の一廓に燦然たる光彩を添へた

（その一）。延寶七年正月の飜刻に係る『二十体千字文』百十二代靈元天皇の御宇四代家綱將軍の時代で今から二百五十四年前のものである

（その二）。寶曆六年飜刻『十体千字文』

悲みの寢卷漂着
鰐ケ淵投身の若い學徒 死体不明の儘昨日葬儀

極度の神經衰弱から久の濱海岸鰐ケ淵の怒濤に身を投じた四倉町新町新藤專門馬信太郎氏弟仙臺高等工業學校生徒門馬雄三郎（二二）君の屍体は家出翌朝の去る十五日から青年團其他漁夫連により捜査中十九日同人が家出當時着て居た寢卷きが同地海岸に漂着したので確實に投身した事が判り何處ぞに生存してゐるでは無いかと云ふ儚ない望みも今は全く絕えて昨二十一日遺留品及前記寢卷きを納棺、驛前海嶽寺で葬儀を執り行つた

磐中平商神宮 出場選手慰勞

關內同窓會長、阿部政右衞門氏等の磐中關係者及宮本商友會長及平倶根本武雄氏等發起の磐中（小川、川隅）平商（木田、安島）各神宮出場庭球選手慰勞會は今二十二日午後六時からマルトモホールに於て開催さるるが會費一圓で出席者は兩校敎員、平

通話區域擴張

平局では今廿一日より左記の如く市外通話の擴張をした

神奈川縣中津局八十錢、埼玉縣蓮田局五十五錢

。。。。。通話停止六件　去月分市外通話料未納の爲昨二十一日通話停止の處分を受けたもの六件であると

半風子退發
第三校の毛髮衛生

平第三小學校では今春以來女生徒の爲每週水曜を期し手、足、毛髮の衛生に細心の注意をはらつて來た結果各組とも頗る好成績をあげて居る中にも八代訓導擔任の五年生からは完全に虱を一掃され本人は勿論家庭學校とも大喜びであると

犯罪豫防 標語とポスター
其筋で懸賞募集

縣警察部刑事協會では犯罪增加の傾向に鑑み一般の注意を喚起する爲この程左記要領で一般より標語ポスターを募集する事になつたが〆切は本月廿七日まで縣警察部刑事課又は平署に送付すべく縣警察部で審査の上左記賞金を贈ると

（標語）一等五圓一名、二等三圓二名、三等二圓三名（圖案）一等十五圓一名二等八圓二名

一般民衆に對し犯罪豫防殊に强盜、詐欺、强請等被害防止に關する觀念を直截簡明に領得せしむるに足る標語、ポスター圖案

九面トンネル竣功
來月中旬祝賀式

工費一萬八千圓で去る五月着工した勿來平潟兩町間國道九面トンネル開鑿工事はその後順調に進みこの程支柱枠全部を外して目下殘工の整理中であるが來月十日頃竣工同中旬盛大な竣功祝賀式を擧行すると

菅野君除隊

平町長橋町出身菅野淺雄君は滿洲より凱旋引續き若松三十九聯隊に服務中であつたが昨二十一日除隊歸郷した

殘された寡婦から 運轉手に請求訴訟
自動車事故が生んだ紛紜

湯本町字寶海松本やへ及びケイ子が永野辯護士を代理人として同町自動車業矢吹莊司氏同所運轉手松田吉男（代理人千葉明瀨辯護士）を相手とり平支部に提起した損害賠償並に慰藉料五千圓の請求訴訟は先般來中島裁判長係り準備中であつたが愈々來月二十二日第一回の口答辯論を行ふことになつた、事件は昨年十一月卅日午後十時頃前記松本やへの夫廣吉が前記のトラックで土浦へ移轉家具を運搬の歸途茨城縣多賀郡日高村字小木津地內東運津橋附近のカーブにさしかゝつた際運轉してゐた前松田吉男が泥醉運轉を誤り道路から八尺下の水田に墜落、廣吉は腦震盪を起し數分にして死亡した悲みと餘財なく今後の生活に差支へる所から此の訴へに及んだものである

平窪消防表彰

平方部聯合消防檢閱は明廿三日同村小學校に於て行はれるが平窪消防組及小頭鈴木守一、蒲葉久雄の兩氏は昨年十一月十五日の大洪水に際して水難救護に盡力した廉で表彰される

。。。。。飯野校蝗代利用。飯野校ではイナゴ代金三十二圓餘を得たので蓄音器の購入其他校內設備の一部に當てた

松村氏自慢の カナリヤ入賞

愛禽愛犬。地方屈指の動物愛護者として知られてゐる平町南町醫師松村鐵郎氏は從來幾度か全國的品評會に於て優賞牌を受けてゐたが今回も去る十九日東京市日本橋區に於て開かれた日本で斯界に最も權威ある大東京カナリヤ品評大會に愛飼のカナリヤ二番を出品して全國的大出品約二百番中見事優等賞を得た

。。。。。武子商店寄附。鎌田町武子雜貨商店では第三小學校へ雨傘二十本を寄附した

。。。。。郡下戶籍吏會。來る廿七八の兩日平第三小學校で開く

。。。。。小濱漁港視察。植田町小濱漁港修築工事中荷揚場設計に就き地元から一部變更方を願ひ出たので小林土木監督所長が昨二十一日實地檢查の爲出張した

。。。。。隔離施設視察。平傳染病院豫防委員清水廣政、吉田金作、新井滋造、の三氏は來る廿五日午前九時から平隔離舍の衛生施設を視察すると

。。。。。保護。信夫郡渡利村古屋ミツ（四二）は精神に異狀ある爲家人が監視中廿日程前家出し昨夜町內を徘徊中平署員が發見保護を加へ今廿一日送り屆けた

。。。。。密獵。豐間村薄磯北町漁夫志賀清次（二八）同仲町佐々木金作（三五）の兩名は去る廿日午後一時由沼の內地內に於てくりぬき空氣銃で雀其他を捕獲中署に檢擧され目下取調べ中

職業紹介欄

○求職
洋服工—十九歲高卒　小使—五四歲
菓子屋店員—三九歲高卒

○求人
女中—二十歲位面談（平町某醫師）
い物見習—十八歲位（平町鐵工所）

平町慶弔錄

△婚姻
紺屋町一箕輪村大字さかき小屋字小畑五一番一四男けい造君
三丁目二二悅藏三女馬目泉子さん

貴方の御家庭に
お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい
直に家政婦を派出します
親切叮寧……料金は極めて低廉です
姙產婦の御家庭　お留守居番
御病人の付添
炊事や雜用　年寄やお子さんの付添
派出多忙に付會員至急募集
平町紺屋町二（電話（呼）六五二）
上原家政婦會
會主　產婆　上原通子

別仕立コート
今秋冬の尖端
自然美を機に上せて
織なせる卓越せる生地を念入りに仕立ました
三井呉服店
電 3 8 2 8 4

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社東油特約店
關彰商店平支店
電話六一一番
本店 水戶線下館驛前（電話五五番）
營業種目
石油、揮發油、輕油、重油、モビール油、マシン油、機械油類、胡麻、種水、植物油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ
支店所在地
茨城縣土浦町出宿（電話六五三、八二四）
常磐線關本驛前（電話平潟五四）
常磐線四倉驛前（電話四八）
◇海上給油及油槽所
久慈濱、大津、平潟